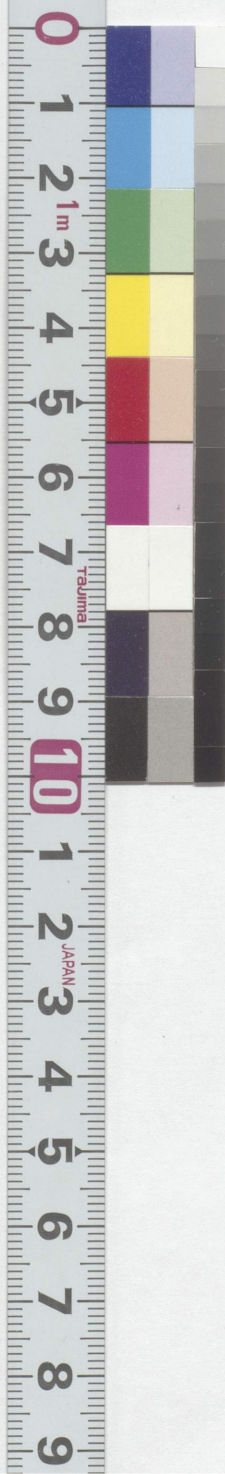


算法通解

上

第五号











三の辰

このざん



九進二十  
九進二十  
六進二十  
六進二十  
三進一十  
三進一十  
三進一十

九進二十 九進二十 六進二十 六進二十 三進一十 三進一十 三進一十

九進二十 九進二十 六進二十 六進二十 三進一十 三進一十 三進一十

あひい  
東拾二万二千四百八拾六石七斗八升九合也  
西万二千四百八拾六石七斗八升九合也



三三九  
三六八  
二二六  
二二六  
三五五  
一三三  
一三三  
三四五

三三九 三六八 二二六 二二六 三五五 一三三 一三三 三四五

三三九 三六八 二二六 二二六 三五五 一三三 一三三 三四五

四の辰

このざん



八進二十  
八進二十  
八進二十  
八進二十  
四進一十  
四進一十  
四進一十

八進二十 八進二十 八進二十 八進二十 四進一十 四進一十 四進一十

八進二十 八進二十 八進二十 八進二十 四進一十 四進一十 四進一十

あひい  
東拾二万二千四百八拾六石七斗八升九合也  
西万二千四百八拾六石七斗八升九合也



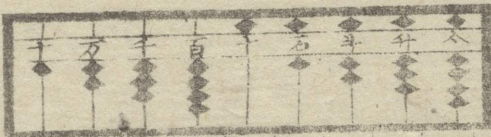
八進二十  
八進二十  
八進二十  
八進二十  
四進一十  
四進一十  
四進一十

八進二十 八進二十 八進二十 八進二十 四進一十 四進一十 四進一十

八進二十 八進二十 八進二十 八進二十 四進一十 四進一十 四進一十

五の辰

ワリギン



又進一十。又四倍作八  
 又進一十。又二倍作六  
 又進一十。又二倍作四  
 又進一十。又一倍作二  
 又進一十。と八とを八つ分  
 又二倍作六。と三を六つ分  
 又二倍作四。と二を四つ分  
 又一倍作二。と一を二つ分

あひハ  
 米拾二万三千四百八拾石七斗八升九合  
 二万四千六百八拾石五斗七升八合



又八斗とを八を八つ分  
 又七斗とを七を七つ分  
 又六斗とを六を六つ分  
 又五斗とを五を五つ分  
 又四斗とを四を四つ分  
 又三斗とを三を三つ分  
 又二斗とを二を二つ分  
 又一斗とを一を一つ分

六の辰

ワリギン



六進一十。六二天倍又  
 六進一十。六進一十  
 六進一十。六一加下四  
 六進一十。六三二倍又  
 六進一十。と六三を六つ分  
 六一加下四。と六を六つ分  
 六一加下四。と六を六つ分

あひハ  
 銀拾二万三千四百八十六貫七百八拾九匁  
 二万七千六百七十六貫七百八拾九匁

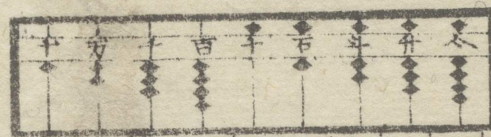


又六千とを六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分  
 一六六。と六を六つ分





九の戻 あまハ  
 米十二万二千四百六十六石七斗八升九合七勺  
 粟一万二千七百七十七石四斗二升壹合二勺



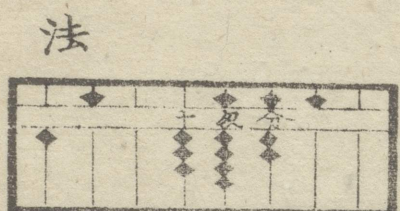
九進一十  
 九進一十  
 九進一十  
 九進一十  
 九進一十  
 九進一十  
 九進一十



一九九  
 二九十八  
 四九三十七  
 七九六十三  
 一九九  
 三九廿七  
 一九九

とやかけさんのもり

眼式指六又八分十又とから算が  
 二百九指七又八分とある算

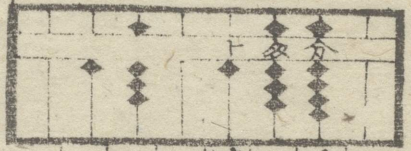


法の又さうとは六と九九と  
 法の又さうとは六と九九と  
 法の又さうとは六と九九と  
 法の又さうとは六と九九と  
 法の又さうとは六と九九と

ちとバ

根指成ヌ分ハ十八をかくると終ハ  
百八十九成とある等

法



法の八と成を九成成ヌ八單とヌの上へ言て又別九と成  
法の八と成十と九成と成八八と十の成へ言るなり

十八その形へ言はば八次の形へ言るは是も仕やう同成と云ふは下地の  
ト成みかぬはつが今うらヌ八四十と二八と云う余は是又成九と云  
成と云へば成法の十八用ひ成成を云うと云て十と云ふも成なり

見一の割る成法也

見一 一割成九一

一進一倍二 一進一十  
又百の上の十も千の上の十も、割るも同成

見二 一割成九二

一進一倍二 一進二  
又三百の上の十も千の上の十も、割るも同成

見三 一割成九三

一進一倍二 一進三  
又千の上の十も万の上の十も、割るも同成

見四 一割成九四

一進一倍二 一進四  
又十の上の十も百の上の十も、割るも同成

見五 一割成九五

一進一倍二 一進五  
又百の上の十も千の上の十も、割るも同成

見六

一倍六  
八五九八  
これ六十九の上の、割付も一又五百の  
上の七十九の上の六十九の上の、ころも同式

見七

一倍七  
八五七八  
これ七十九の上の、割付も一又七百の  
上の七十九の上の七十九の上の、割付も同式

見八

一倍八  
八五八八  
これ八十九の上の、割付も一又八百の  
上の七十九の上の七十九の上の、割付も同式

見九

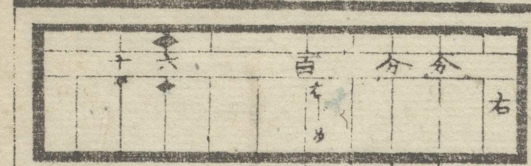
一倍九  
八五九九  
これ九十九の上の、割付も一又九百の  
上の七十九の上の七十九の上の、割付も同式

見一の割算かけさのり

見一の段

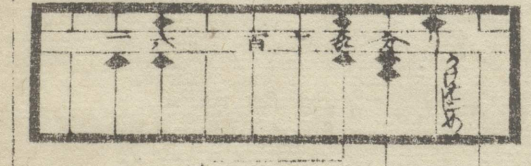
張面目と

六枚式を又作す



一、二を二十と二と七以上  
二を七以上二と七の六と七合  
二六十二引

一、六六六六六六の六と七の  
六と七合六三三六引  
一、七七七七七七を右に七  
一、九九九九九九の九と七と七合  
六九九九引



一、上の七と七の六と  
合六六三三三三三三  
一、二二二二二二を  
合二六十二三三三

一、上の六と次の六と  
合六六三三三三三三  
一、三三三三三三三三  
合三三六六六六六六

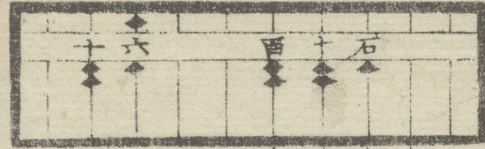
見二の辰

あひハ

兼或百或指を石と

二十をよれば八石五中ツシ

ころきん



- ① 六六三十上の六と九の六と兄合三十引もろふ
- ② 六八四十八引右の八と九の六と兄合は形では引減て八引
- ③ 二姉を二天他を他る
- ④ 一 兄二を既他九二と二を九小他つて二とろふは九と右の六と兄合は九と由ふ引減は二倍二と九の内をひきり二をとろふ



- ① 六六三十上の六と左の六と兄合三をとろふ
- ② 二八十八と二を二他る
- ③ 六八四十八上の八と九の六と兄合は公算る
- ④ 二 八十六は八と九の二と兄合八と二つろふは八とろふ

うけきん

見三の辰

あひハ

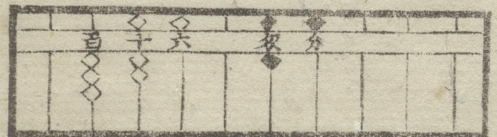
辰二兼百四指風を

二百半六小割ハウ級又分ツシ

ころきん



- ① 六六三十引と右の六と九の六と兄合三十引もろふ
- ② 六六三十引右の六と九の六と兄合三十引減て六引
- ③ びりとか九あり内を六と二と六を引二とろふ
- ④ 上小兄弟ひみと右の七と兄合八七三十を二引減て八引
- ⑤ 六七四十二引びりごと引減て二引
- ⑥ 二 姉を三三三と二と二引他る
- ⑦ 一 二六十二と二を六他る



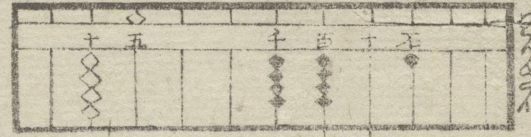
- ① 右の六と九の六と兄合六六三十とろふ
- ② 右の六と九の七と兄合六七とろふ
- ③ 右の六と九の六と兄合六六三十とろふ
- ④ 一 六と九の六と兄合六六三十とろふ
- ⑤ 二 六と九の六と兄合六六三十とろふ
- ⑥ 三 六と九の六と兄合六六三十とろふ

うけきん

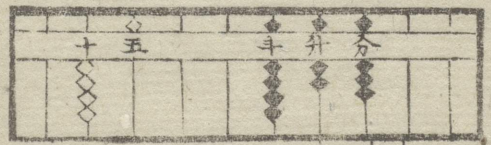
見四の段

あひひ  
米四十四百七拾石

甲八ふり九斗七升八合之



- ① 二を二十と位をおひ一五
- ② 上の八と九の又と八合八
- ③ 八斗四升七合
- ④ 八斗四升七合と右の七と九の
- ⑤ 又と八合三升七合を又引
- ⑥ 二の七と九の又と八合七
- ⑦ 二の七と九の又と八合七
- ⑧ 二の七と九の又と八合七
- ⑨ 二の七と九の又と八合七
- ⑩ 二の七と九の又と八合七



- ① 上の八と九の八と八合
- ② 八斗四升七合
- ③ 八斗四升七合と右の七と九の
- ④ 又と八合三升七合を又引
- ⑤ 二の七と九の又と八合七
- ⑥ 二の七と九の又と八合七
- ⑦ 二の七と九の又と八合七
- ⑧ 二の七と九の又と八合七
- ⑨ 二の七と九の又と八合七
- ⑩ 二の七と九の又と八合七

見五の段

あひひ  
米三費八百七拾石

又百十六とれが  
七斗八分之二



- ① 一の八と九の八と八合
- ② 八斗四升七合
- ③ 八斗四升七合と右の七と九の
- ④ 又と八合三升七合を又引
- ⑤ 二の七と九の又と八合七
- ⑥ 二の七と九の又と八合七
- ⑦ 二の七と九の又と八合七
- ⑧ 二の七と九の又と八合七
- ⑨ 二の七と九の又と八合七
- ⑩ 二の七と九の又と八合七

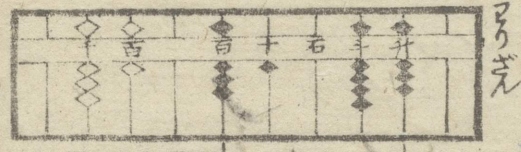


- ① 一の八と九の八と八合
- ② 八斗四升七合
- ③ 八斗四升七合と右の七と九の
- ④ 又と八合三升七合を又引
- ⑤ 二の七と九の又と八合七
- ⑥ 二の七と九の又と八合七
- ⑦ 二の七と九の又と八合七
- ⑧ 二の七と九の又と八合七
- ⑨ 二の七と九の又と八合七
- ⑩ 二の七と九の又と八合七

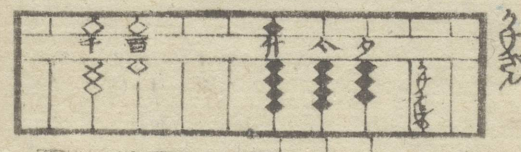


見八の辰

あひひ  
八百拾石九斗八升七  
九升四合三勺七



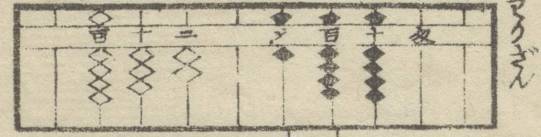
- ① 八を二十
- ② 右の五と左の六と足合垂十引
- ③ 八を下と八をひき上る
- ④ 右の四と左の四と足合六
- ⑤ 廿四と二を引換を四引
- ⑥ 三秒と八二加下四と二をのせりあひ九と四とをひき
- ⑦ 六九八十四引と左の九と左の六と足合又引換を四引
- ⑧ 二のろと八二加下六と二とをひきあひ九と六とをひき
- ⑨ 八八八八八八八八八八八八



- ① 上の五と左の六と足合三六十八と二と八とをひき
- ② 廿五と九の八と足合三十八と二と八とをひき
- ③ 廿四と五と二とをひき八とをひき
- ④ 上の四と左の四と足合四と六と二十とをひき
- ⑤ 廿四と左の八と足合廿八と二と八とをひき
- ⑥ 上の九と左の六と足合六九八十四とをひき
- ⑦ 廿九と九の八と足合八九七十一と九とをひき

見九の辰

あひひ  
六百三十二と三  
七と八分



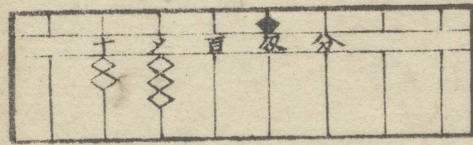
- ① 右の八と左の二と足合二
- ② 七十四引と右の七と左の二と足合七引換を四引
- ③ 九を十
- ④ 右の八と左の二と足合三又十引
- ⑤ 九を下と九をひき上る
- ⑥ 右の七と左の三と足合三
- ⑦ 七十一引と二を引を一引
- ⑧ 四秒と九に加下四と四とをのせりあひ九とをひき
- ⑨ 九六加下六と六とをひきあひ九と六とをひき



- ① 右の八と左の二と足合二と八とをひき
- ② 右の八と左の二と足合三又十引
- ③ 右の八と左の二と足合三又十引
- ④ 右の七と左の二と足合三又十引
- ⑤ 八と九の九と足合八
- ⑥ 九と九の九と足合八
- ⑦ 七と七と九とをひき
- ⑧ 七と七と九とをひき
- ⑨ 七と七と九とをひき

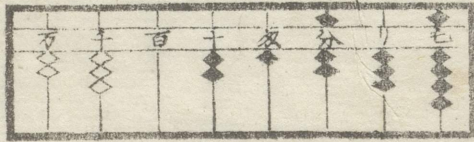
古今かめいざんのり

圖之一



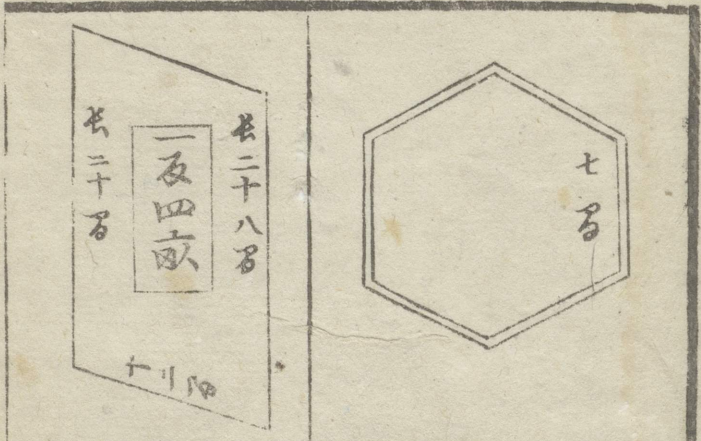
根又百用と母之小判と終るを又百用  
とあら九小母ととあら九の母とと右と終るに  
引く先又百用の内貳百二十枚引去終る二  
百七十枚のらる上へ十とと又貳百七十枚  
の内二百枚引去終る四十枚のらる上の  
十又十とと又のらる四十枚の内廿二枚引  
去七十枚のらる上の母の次一とと左のらる十七  
枚の内貳枚ととと七枚引去終る九枚あり  
母一の次一七とと左のらる九枚の内を貳枚  
ととと二枚引去終る二枚ととと七の次一

圖之二

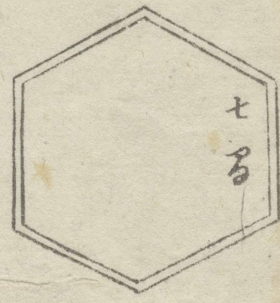


三ととととのらる貳枚を左のらる貳枚ととと  
つ九枚引去上の廿一七の次へ九ととと  
たありさをかくのらる引去身あり高を  
えまは貳十ととと七トとと九枚ととと  
ありあり  
▲一の母のらる九小母とととあら九に又  
百用とあらひびるの母ととと二百ととと  
えと又百用の内貳百ととと十ととと二枚引  
去とととととととととととととととととと  
二十ととと引去上の次一ととと又のらる  
十七とととととととととととととととととと  
引去一の母のらるととととととととととと



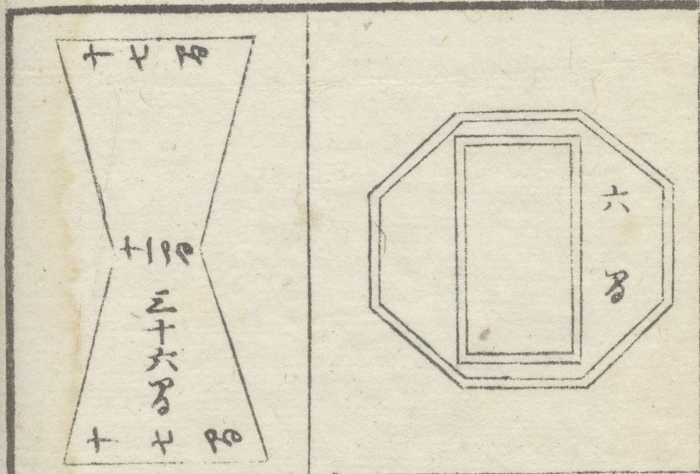


長二十八  
一及四畝  
長二十

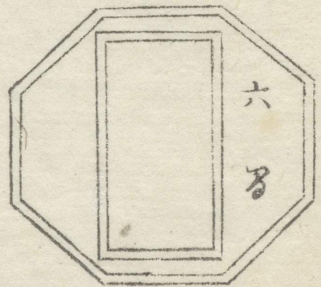


七

六角の面七あるをいはず何れをいふ  
而二十七は三か二毛といふ法より七をたを  
おれかゝるは四九とあるとれより六角法二八  
九八とあるは而二十七は三か二毛とあると  
とれより三法小七をたをたはるは九とある  
四九とあるは三か二毛といふ法をいふは二  
二七とあるとれより六をたはるは而二十七は  
三か二毛とあるなり  
法より二十八間に十二間より三か二毛  
六坪とあるとれと田の法より三か二毛  
一及四畝六坪とあるなり

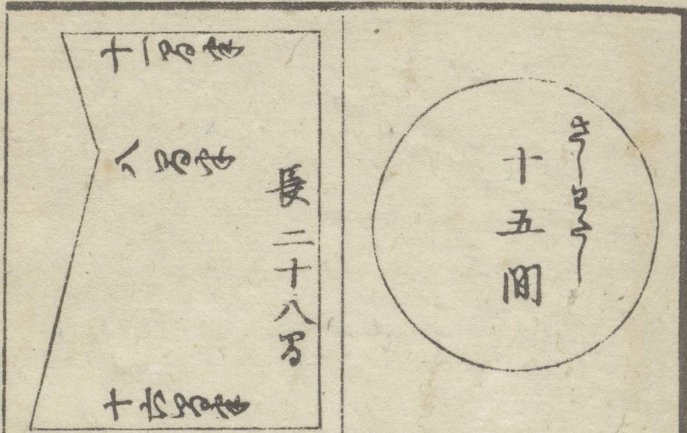


十 十 十四  
十一  
二十六  
十 十

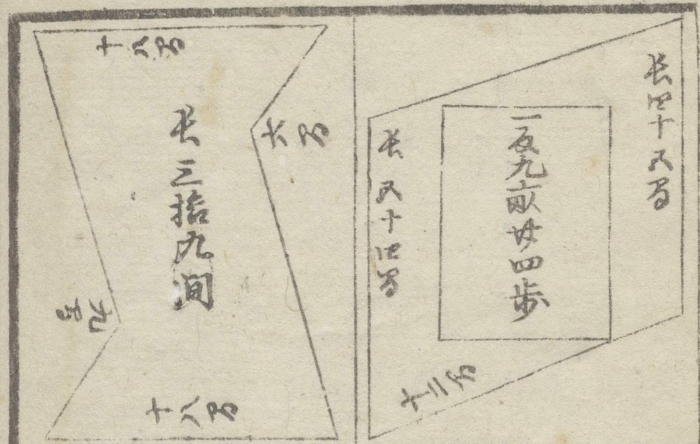


六

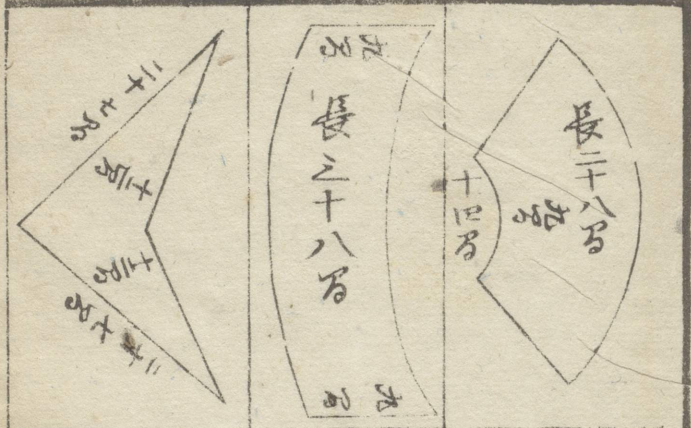
八角のありて六あるはありは坪何れ  
ぞといふ而七十二坪八か二毛あると  
いふ法小六をたはるは九とあるは  
二六とあるは二をか二毛は七とある  
とれと八角の法は二四二とありて六の  
二七とあるは而七十二坪八か二毛と  
あるなり  
法より十七は十二をたはるは二十八  
是を二よりれば十四とあるとれより  
長二十六をたはるは八とあるは  
是と田法より二とありては九一及四畝  
二十四坪とあるなり



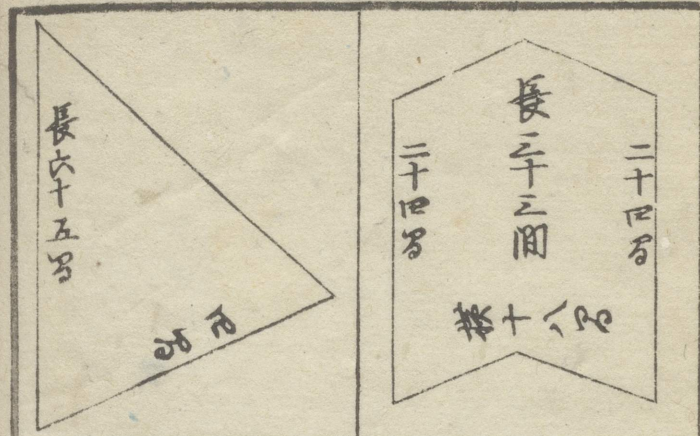
法ハ十八を七にかければ  
 百七十七坪七角五分とありこれを田法  
 三とめつては  
 五十六二十七坪七角五分とあり  
 法ハ十六を八にかければ又十二  
 坪とあり八にかければ又十二  
 坪とあり十二を長二十八とかけ  
 ると三百三十六坪とあり田法三とめつては  
 一及二畝六歩とあり



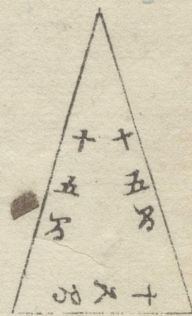
法ハ十八を七にかければ  
 百七十七坪七角五分とありこれを田法  
 三とめつては  
 五十六二十七坪七角五分とあり  
 法ハ十六を八にかければ又十二  
 坪とあり八にかければ又十二  
 坪とあり十二を長二十八とかけ  
 ると三百三十六坪とあり田法三とめつては  
 一及二畝六歩とあり



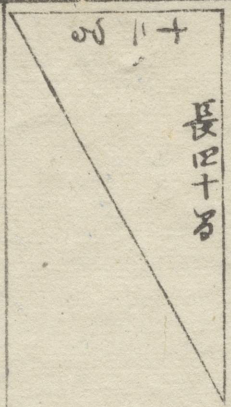
法は二十八より十四をさうへ十四十二と破  
 とれと二ツよりれば二十一よりなるは九  
 るとうらまは百八十九はなるはと田法  
 二つとるれば  
 六畝九歩とあるあり  
 法は二十八より九をさうへは二百四十二  
 坪とあるとれと田法二つとるれば  
 一及二畝十二歩とあるあり  
 法は二十七より十二をさうへは二百  
 二十四坪とあると田法二つとるれば  
 一及廿四歩とあるあり



法は長二十より十をさうへは十四よりさうへは十  
 七よりあるとれと二ツよりれば二十八より  
 なるはとれは十八よりさうへは百積三坪は  
 なるはと田法二つとるれば  
 一及七畝二歩とあるあり  
 法は四より二ツよりれば二とある  
 とれと長六十六よりさうへは百二十  
 坪とあるとれは田法二つとるれば  
 四畝十歩とあるあり



長四十八



長七十六間

法は十八間と夫を二重かゝれば二百二十  
又ほ小間とこれと三角〇法は二三とわづらひ  
九十七坪は二重又毛又あるこれより田法  
三よりとれば

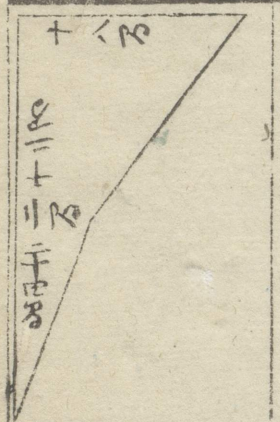
法は十二間と二ツよければ六間とあるこは  
長さ四十八よりかゝれば二百四十坪とある  
と是と田法の二よりとれば

八畝とあるなり

法は七十六間小五八とわづらひ二八とある  
と是を六八八寸ゆゑにれば八十八坪が  
田法六間とあるこは減田の法三より割ら

十畝二十八歩田法とあるなり

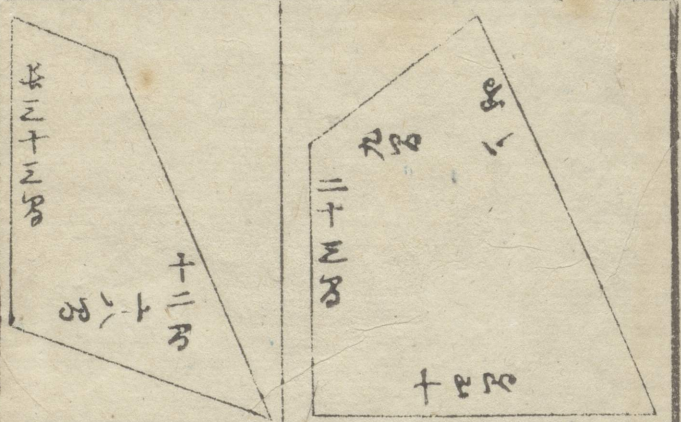
長  
三十五間二尺寸



法は三十五間二尺寸とありて二十五間あり  
又六尺八寸とわづらひ三十三間とある又別  
ありては十八間とあり十八間とあるなり  
又寸とわづらひ二尺二寸とありは六尺二寸  
よりわづらひ二尺二寸とありは六尺二寸と  
あるこは二尺二寸の法三よりわづらひ六尺  
十八間とありは八間とありは二間とありは  
法三よりわづらひ

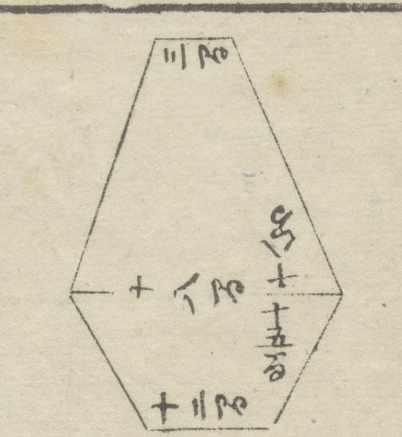
二畝一畝二十八歩九分八厘とある

法は二間と三ツ割り二間とあるこれより長は  
とわづらひ二間とわづらひ二間とわづらひ  
二間とわづらひ二間とわづらひ二間とわづらひ  
長十二間とわづらひ二間とわづらひ二間と  
合四十四坪とあるこれを田法三より割ら  
田法二十四歩とあるなり



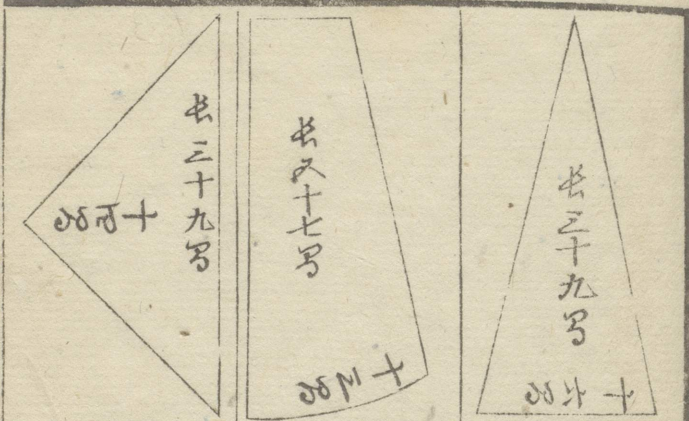
法小長母三間小又十二間とてのゆゑとて凡の  
 軍營とあるをこれと三ツ又別母廿三間半と  
 するに於て十八間とてのゆゑに四間又板と板  
 と是と田法三ツをてりぬ  
 一及二畝十歩とあるは

長廿  
 五十八間  
 〇〇〇

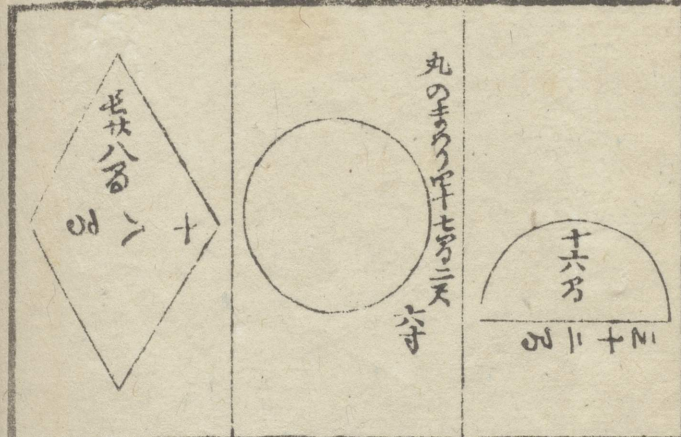


法又長廿又十八間とて二十又間とての  
 合を板が十四百五十坪とあると是に成  
 田法の三とてのゆゑとてりぬ  
 一及八畝十歩とあるは

法又十二間と十八間とてのゆゑに三十三間  
 二と三と十五間とあるは是も本十二間と  
 加るに二百廿又板とあると是に別とあるは  
 十八間と三間ととあるとて凡の三十二間  
 小あると是と二と三と板が十間半とあるは  
 十八間半から是に凡の十九間とあるは右と  
 二口合田百十四坪と田法三ツをてりぬ  
 一及一畝十歩とあるは

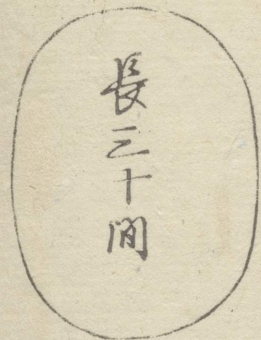
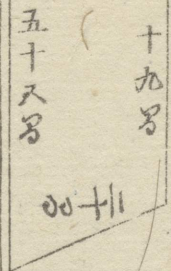
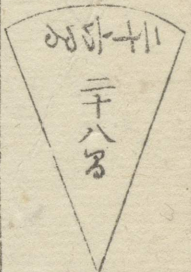


法又十六号と二ツより三ツハ八号とある是を  
 又三十三号間にかゝれを三百十三坪と欲  
 とれと田法の内ふてとれハ  
 壹及十二歩とあるあり  
 法又十三号又又号とあるとあると八号  
 とあると是と二ツ小口は九号とある是と  
 五十七号にふうは又百十三坪となる  
 とれと田法三つては  
 一及七畝三歩とある  
 法又十四号と十四号を二ツより七号と欲  
 とるに長二十九号を二ツより二百七十三坪  
 とあるとれと田法二つては  
 九畝三歩とあるあり



法又十八号と二つより九号とある是を  
 二千八百より二面五千二坪小あるあり  
 とれと田法二つては  
 八畝十二歩とあるあり  
 法又十八号と二つより九号とある是を  
 二千八百より二面五千二坪小あるあり  
 とれと田法二つては  
 八畝十二歩とあるあり  
 法又十八号と二つより九号とある是を  
 二千八百より二面五千二坪小あるあり  
 とれと田法二つては  
 八畝十二歩とあるあり  
 法又十八号と二つより九号とある是を  
 二千八百より二面五千二坪小あるあり  
 とれと田法二つては  
 八畝十二歩とあるあり

二十



法小より二十六間と二ツよりこれ六十三間  
とあるこれと二十八間よりか二六六三十四間  
とある是と田法二よりこれ六  
一及二畝四歩とあるあり  
法小より十九間を加へて七十間と此是  
とあり別は二十七間とありこれ横廿二とあり  
是は七百四坪とある是と田法三よりこれ六  
一及四畝二十歩とあるあり  
法は長世間の内と十四間列へ此十六間あり  
是は又十四とあり二畝四坪と此是とあり  
これ又ありと十四間とありこれ六十九六  
より此は二畝法七九とありこれ百四十  
坪八分四厘と此是とあり二畝四坪とあり  
三百七十八坪八分四厘と此是とありこれ六  
一及二畝十八歩八分四厘とあり

第一九九

九九の圓案の除々に  
法は長とふかありすと  
學の法は長とふかありすと  
一と付はさるるを九九  
八十一とあるを九九  
とあり九九と圓案ハ  
法は長とふかありすと  
とあり長を除去とあり  
あり長と圓ハ八とあり  
さるるの法は長とあり  
とあり法のたがひあり  
又通して長とあり  
ありハ八とありとあり  
とありハとありとあり  
とあり

二二四	二二六	二四八	二五十一	二六十二	二七十四
二八六	二九六		三三九	三四十二	三五五
三六八	三七廿二	三八廿四	三九廿七		四四十六
四五二	四六廿四	四七廿八	四八卅二	四九卅六	五五廿五
五六二	五七卅五	五八四	五九四		六六十六
六四二	六四八	六五十四		七七四九	七八五十六
七九三		八六十四	八九七十一		九八十一

第二かめ井ざん

ハさんハ九枚ハ一板ハ  
 のぞく及ばず掛ハ枚  
 あるハハさんといふ  
 板と云ハ板ハ云と云  
 万分の板を以て二  
 枚と云と云とあり又云  
 半位と云と云とあり  
 板ハハさんのひひ  
 ハさんより掛と云ハ  
 板不盡ノ用也ニツハ割  
 と云ハ又百圓ツハと  
 云れども其ノ用と  
 二十万ハ云ると云ハ  
 百ハ云ると云ハ云ハ  
 云ハ云ハ云ハ云ハ

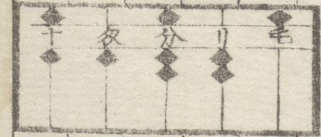
二天作五  
 と云ニツハ云と云ハ  
 五と云ハ云と云ハ

二進一十  
 と云ニツハ割と云ハ  
 二と云ハ云と云ハ

板百式格之各四ト云云と云ハ  
 六十と云ハ云と云ハ



二進千二進千二天作  
 二進千二進一十  
 二進千二天作五  
 二進千十  
 二天作五



二天作五  
 二天作五  
 二天作五  
 二天作五  
 二天作五



位を云ハ云と云と云  
 七分と云と云  
 百十萬十萬と  
 十萬十萬と云と云  
 十萬十萬と云と云  
 十萬十萬と云と云

位を云ハ云と云と云  
 七分と云と云  
 百十萬十萬と  
 十萬十萬と云と云  
 十萬十萬と云と云  
 十萬十萬と云と云

三の割

三三三十一	三三六十二	三進一十
その三ツハ云と云	その三ツハ云と云	その三ツハ云と云
一と云と云と云	一と云と云と云	一と云と云と云

かめ井の割

二二四と云と云	二六十二と云と云	二七と云と云	二五と云と云
上三三三三三三三	上三三三三三三三	上三三三三三三三	上三三三三三三三
ひく	ひく	ひく	ひく
二六十二と云と云	二六十二と云と云	二六十二と云と云	二六十二と云と云
六	一	七	二

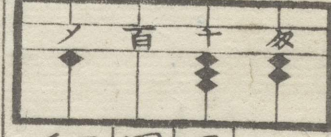




うける處十方といふや  
 とてまるし初は兩とせり  
 合て後一の兩と教へ  
 又より内さうける内  
 九のさうらうりとを  
 ましねむどよめは  
 らうまゝ動らざる  
 かさうらうらうらう  
 口り後のはらうらうら  
 くありといふも後  
 くさめはけいさうら  
 らからんう何甲うのく  
 らひをさうらうらとれ  
 とさうらうらうらうら  
 べし

てに龍井と名  
 づけらるる右法の  
 のわしなる新編  
 法算紀といふ書に  
 記さる右法いけごと  
 そろぞろわすいす  
 まくさん木さんさん  
 をめりて商実方  
 式そののぞくあり  
 一割書と曰龍井と名  
 九九列そろむんとを  
 むらうらうら代  
 の人つらうら代  
 ばさんあうら代  
 さんさん一と利らる  
 目らうの世すところ

加め井割



引  
 四八三引とてはては八はて下の可引八  
 四五引とては上の又とありては二引之  
 二四八引とては三とては二は二は  
 てはくわくあり

五の五

五五加一  
 五三加三  
 五四加四  
 五二加二  
 五進十  
 五二加二  
 五進十

米六石七斗四升  
 六石七斗四升  
 六石七斗四升  
 六石七斗四升

加め井割



六  
 六加下四  
 六二并二  
 六二并二

六の  
 六加下四  
 六二并二  
 六二并二

さいごういふよりいふより  
 さんごうとちうあり  
 初学のことゆふハ八え  
 兄一はあくことあり  
 とりぬの地よりあり  
 きぬ あるは九列  
 さんとまることあり  
 大なるあやをあり  
 ぬりぬり人よりあり  
 ぬりぬりぬりぬりぬり  
 のごとくそふんさ  
 さんごうさんごうさんごう  
 高実方式とゆのそ  
 くん初見よふるは

六三天作五  
とら六よころと地  
三ツあふはスに  
つるあり

六五八十二  
とら六よころと地  
スツあふはスに  
つるあり

六進下  
とら六よころと地  
ひらそめ一ツと  
あがるあり

六四六十四  
とら六よころと地  
はを六よつるあり  
はとらるる

六進下  
とら六よころと地  
ひらそめ一ツと  
あがるあり

六進下  
とら六よころと地  
ひらそめ一ツと  
あがるあり

六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二
六	五	八	二

六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四
六	九	五	四

法いあしせし難  
 向秘者いさうそ  
 高実方廣隔とも  
 つくころのまに  
 かあるそふんさ  
 をい難向秘式林妙  
 こころとゆに独友  
 高実方式のゆ  
 をい十りに  
 つく一歩をあるす

龜井よりい九かひ地持るをんとりゆ  
 むりよりありあ代の人の持るをそふ  
 あらひのさんゆあひぬい八さんん一をゆあ  
 りあひゆとそふよりいゆかくしてのそふ

七の割

七加下三  
七ツあふはスに  
あふは二とそふま  
あはる

七加下六  
とら七よころと地  
三ツあふはスに  
あふは二とそふの  
まあはる

七三四十二  
とら七よころと地  
はを六よつるあり  
はとらるる

七四五五  
とら七よころと地  
下のゆは五を  
とらるる

七五七十一  
とら七よころと地  
五ツあふはスに  
つるあり





何れも此の正術はあはれと云はれども初学をみちひくはこれより  
 是る法式より一これ高実方せりあるまは教術の是派を  
 志しめんとあまう九倍除のする正術とせんがく世に  
 傑出かきまう一高実方式と云術と云る教術一費と云る左  
 有り八さん元一平方立方三乗その上何れも此の法といふも  
 さん其立すうにあらざるや  
 又九倍除と云術はあはれといふ右は及まるやあるや  
 是より一平方立方三乗の方式とて九倍除と云と  
 反くとと云かんぐたれぬ一志をんに費つうの程を  
 たのめ一

三 又九倍除の  
 一とあるはそいふとむ  
 きと云る元一といふ


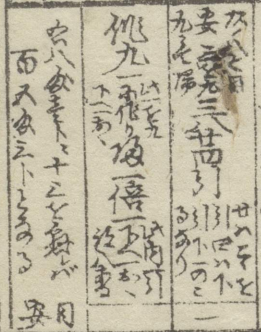
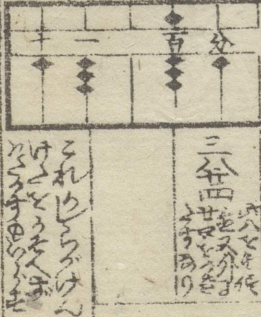
一とあるはそいふとむ  
 きと云る元一といふ  
 又九倍除と云る  
 又九倍除と云る

第三元九引算付いたは割

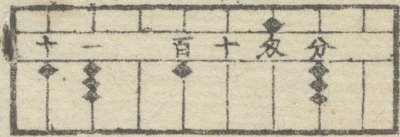
元九及倍九  
 一引算付いたは割

倍九及倍九  
 一引算付いたは割

元九及倍九  
 一引算付いたは割

	<p>           元九及倍九            一引算付いたは割         </p>
	<p>           元九及倍九            一引算付いたは割         </p>
	<p>           元九及倍九            一引算付いたは割         </p>





十とひこのめ  
 へんごふをえ  
 上の十ふする  
 十とひこのめ  
 へんごふをえ

一位の  
 元  
 十の術  
 十の術  
 下で分  
 元で分  
 のと分  
 と定ぬ  
 算のど  
 せく一

安月 八分



〇九 二倍二	八 六 千 引	〇三 天 後 五	二 六 十 二	八 八 六 十 四	二 八 十 六
〇九 二倍二	〇三 天 後 五	二 六 十 二	八 八 六 十 四	二 八 十 六	

張二百四拾八分を二十八割を  
 〇八分六分より次ある

このとつとと  
 ろをどうしてのち  
 分のととつと定  
 むるなりおとより  
 うちあると死へ分  
 元とつとつとつと  
 さひるなり何れど  
 ありともいとつと  
 てんがへんごふ

安月 八分



張二百四拾六分貳厘を二百拾六割を  
 とつと九厘めをよある

五六三	一五五	二五五	三六六	四七七	五六三
五六三	一五五	二五五	三六六	四七七	五六三
五六三	一五五	二五五	三六六	四七七	五六三
五六三	一五五	二五五	三六六	四七七	五六三



十	百	千	萬
●	●●	●●●	●●●●

こゝ小位の  
元をさう光  
りけてのち  
一のとをさ  
えうん

十位をさる  
一桁ふのり  
分のちをさ  
かりて一のとをさ  
家のさうと  
右のさうと後を  
元へさるに十を  
のちへ十とのち  
さうなるゆへさる  
安

まゐりわこのとをさ  
るをさるをさる  
後一のとをさる  
ありけりわつちあり  
さうなるのちをさ  
かりてをさるに  
さう  
元へさるに十をさる  
のちへ十とのちを  
さうなるゆへさる  
安

銀四費八分六厘を四百八割

九分八厘郵重又毛に

百	十	分
●●●	●●	●

元	分	厘	毫	絲	忽
●	●●	●●●	●●●●	●●●●●	●●●●●●
八四	二八	六二	二八	六二	五八
九二	四七	二二	八二	九二	七二
二	九	九	二	二	六

銀四積三費四厘五分を五八  
八分八厘に

分	厘	毫	絲
●●	●●●	●●●●	●●●●●

元	分	厘	毫	絲	忽
●	●●	●●●	●●●●	●●●●●	●●●●●●
五八	四二	六	八	四	八
五八	四二	六	八	四	八
五八	四二	六	八	四	八

三十二



あてあがつゝ分位何れと  
 と知るゆゑの分位何れと御  
 こころの分位何れと御  
 商賣方分位何れと御  
 七十三小除ハ何れ

商賣方	分	十	百
三	三	三	三
三	三	三	三
三	三	三	三

と六毫  
 八分  
 九分  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十

分	十	百
三	三	三
三	三	三
三	三	三

御目  
 安

張 張六分四厘八毫  
 又分九厘八毫六分七厘五毫

分	十	百
三	三	三
三	三	三
三	三	三

分	十	百
三	三	三
三	三	三
三	三	三

商賣方	分	十	百
三	三	三	三
三	三	三	三
三	三	三	三

八十分位何れと御  
 引掛り何れと御  
 求小方何れと御  
 次小方何れと御  
 方とを合一何れと御  
 三トとを合一何れと御  
 又商八分下何れと御

張 張四厘四分二分  
 又分六厘九毫二辨

分	十	百
三	三	三
三	三	三
三	三	三

分	十	百
三	三	三
三	三	三
三	三	三

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

七指八垂百六十九  
 九七下六垂百九

百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			
百	十	一			

八十一とへの数を八十一  
 小体るまでそのつぎ  
 くうるゆの〇をそ  
 ら小ながへくかくる  
 へとの合廿八十一と  
 ①の数を八十一から△  
 さす又体ととの合八  
 八十一と②の数を  
 体とのつぎくく  
 らの〇をそるに  
 る味とと存ある廿八  
 一〇の数をへる△  
 さす又仁ととの合廿  
 八十一と③の数を  
 つぎくかするに

③とそふにあふてく  
 らふととふあひせぬ八  
 十一と④の度へはむと  
 二とふあひせぬ八十一  
 と④の度へはむと  
 九百九十八と〇〇まで  
 とあるあり  
 うけふんふまひくむ  
 こいふも略す

本拾遺といふ書にこの  
 方表の美形にもに地  
 のるまてその止のと  
 つのりより歩つもの  
 小定法と名ありなり

法のおろくそ小合致  
 とひてあるす

①三歩歩に二反ある也  
 割田の及法と名

②三十歩の畝の九割の  
 畝法と名

③六歩とあるところ六五  
 寸の畝六又と法と十又  
 六又とひく割の法と名  
 あるあり田をともるへ  
 六尺五寸の畝六尺又と  
 畝の法の畝六尺又と

④二歩歩の所畝あり  
 別所法と名

⑤七九といふ田法七  
 九あり

二十四

牙四檢地付り 斗代盛

此田三拾間四方有 何反は  
 七反あり 谷三反と云

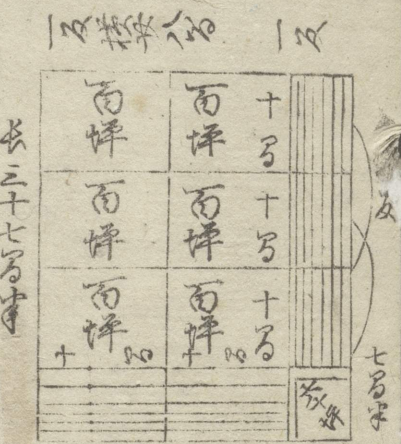
十	十	十
百坪 百坪 百坪	百坪 百坪 百坪	百坪 百坪 百坪
一反	一反	一反
一反と申す法	一反と申す法	一反と申す法

けつかりは九反ありと云  
 一反と云ふは九反と云ふ  
 一反と云ふは九反と云ふ  
 一反と云ふは九反と云ふ

割の法と名とあるありと云  
 ぶんりりといふあり

長三拾七間半横式拾八間有  
 谷三反又畝といふもと

此田何反ありと問



長二十七間半

一畝は長八十一間一尺一寸と一畝一尺一寸と  
 二畝一尺一寸と一畝一尺一寸と

一畝は長八十一間一尺一寸と一畝一尺一寸と  
 二畝一尺一寸と一畝一尺一寸と

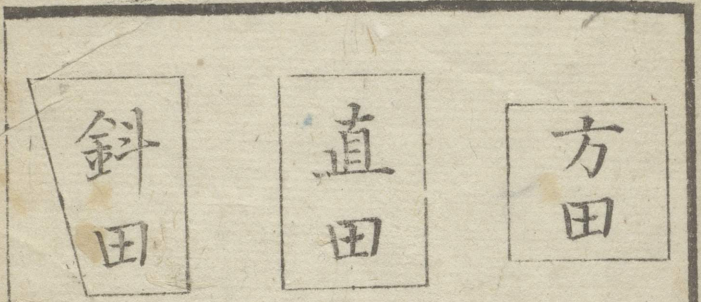
一畝は長八十一間一尺一寸と一畝一尺一寸と  
 二畝一尺一寸と一畝一尺一寸と

一畝は長八十一間一尺一寸と一畝一尺一寸と  
 二畝一尺一寸と一畝一尺一寸と

三十一

①二六四と位遠之十  
 二六四之法ハ周法の二  
 一分六を自乘して田  
 積法七分九厘ゆゑ  
 除くゆゑ  
 ②二分一ハ内田積法  
 七分九厘を引給ふと  
 積とあるあり  
 ③四十三五八六八五寸  
 一畝自乗して七畝  
 田積法より名積中  
 三畝中ニ田積の名を  
 あるゆゑと名積の中  
 もある在云に名積を  
 あるゆゑ

<p>           四十畝            一及二畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           四十畝            一及二畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           四十畝            一及二畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           四十畝            一及二畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>
--	--	--	--



<p>           六十間            八畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           六十間            八畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           六十間            八畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>	<p>           六十間            八畝            此れ十八畝小田十畝と云く            七畝七面二十坪と成られ二ツは            二ツは二面六十坪とあるは成田法の            二ツは二面六十坪とあるは成田法の         </p>
--	--	--	--

勾股田

三針田

二針併田

廿四間

三及九畝六步

十六間

圭田  
本古法也  
御月之

直減勾股田

撈田  
本古法也  
據此未附

撈田前

是ハ女又男とニツ小割未女田  
るところ是ハ二百坪とあるこ是と  
田の法ハ小割バ一及とあるあり

四十間  
是ハ二百坪小半坪とあり  
二百坪是是を右別と  
又ハ八畝六畝を半八坪  
と畝量をニツは二坪  
坪と右手或百坪のうら  
是引撈系百坪坪と是と田の法三小とあり

六畝女二歩三分田を 是ハ十六坪とあり  
是合二百八十六坪とあり是ハ七九七  
坪とハ二百〇二坪三分田と畝量と田の  
法ハ小と是ハ六畝女二歩一分田と是

百五十  
五及九畝十歩  
是ハ田法之よりつて是ハ八及九畝  
十歩とあるあり

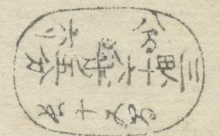
二及五畝十七歩と是ハ十八  
畝ハ八畝と是合廿六畝是ハ廿  
間と是是ハ子田法と是右ハ別と是  
又廿四畝と十四畝と加ハ二十八と是ハ  
十二畝と是是ハ四百九十四坪と合  
ハ五百二十坪と是是と是ハ二ツと是ハ  
十百二十坪と是是と田の法ハ二ツと  
割ハ二及五畝十七歩と是ハ

吳形直田

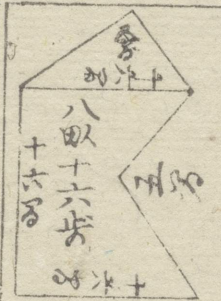
圭形二斜田

三斜併田

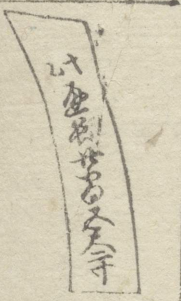
一斜併二斜田



是の長十八歩中八歩と短二十歩と成る  
別を又八間表と短を合定法(四)二とを  
是の長に短を合定法(四)二とを  
引く法は六歩五寸五厘と田の法は三、割は  
二四十六歩五寸六厘と成る



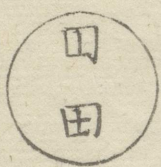
と成る十六歩と成る寸と成る寸  
二面五十六歩と成る是と田の  
法は三、割は八四十六歩と成る



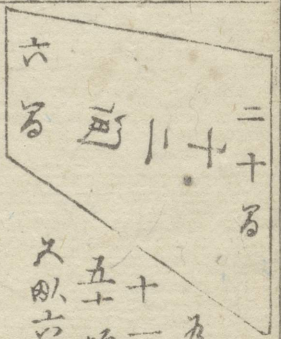
是の長二十歩又二寸と成る二十歩  
寸六五と成る寸三寸五寸二寸と  
成る是の法は八と成る是と成る  
法の法は二五と成る是の法は十二  
歩八と成る是と成る

五形二斜併田

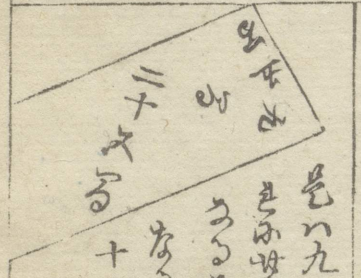
直併二復田



本出小  
法中  
左換北  
之末小  
佛之附



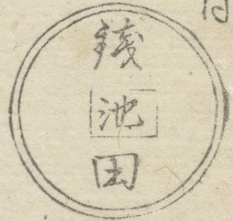
是の長二十歩又六寸と成る寸六寸  
寸是二十二間と成る寸六寸と成る  
十一歩と成る是と二寸寸割を面  
五十歩と成る是と田の法は三、割は  
八四十六歩と成る是と成る



是の長九歩又五寸と成る寸合十四歩と  
成る是の法は五と成る是と成る寸十歩と  
成る是の法は二寸寸割は百七十八歩と  
成る是と田の法は三、割は五四二  
十歩と成る是と成る



右の



後月の  
半月法晚  
田の後月  
のみ美飛

孤田とも申出は法

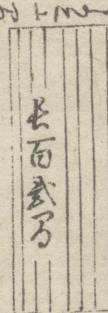


長百二の横十の田の二反四畝之是と南の池の  
 何の格の度が四人と七寸として四方の  
 出りも七と七とありいふを引く跡の畝  
 地何程と向 畝二反八畝廿九歩七九田と云  
 張る様より何先而二畝は六尺とを根が  
 六十六丈二尺と張り内六寸引跡を四尺六寸  
 と引れば一面四十四寸と張り二尺八寸とを  
 引れば十七丈六寸とありと云ふ別々  
 十畝と六丈八尺と張り二尺八寸とを  
 引れば六丈二尺八寸とありと云ふ畝の  
 七丈六尺二寸と張り六尺六寸七寸と張り  
 八寸と張り八寸と張り二尺八寸と張り  
 八百六十九坪とありと云ふ畝と田の法  
 三三を別ハ二反八畝廿九歩七九寸とありと云ふ

右の外界形檢地を  
 之と引とも畝を

△斗代りりへととハ二反  
 十寸とのち一石八斗代  
 とあるべりの成四ツ  
 六分とあるは十石五  
 分とあり六分ある納石  
 にては斗代六斗と納石  
 と引く作一斗と十分の  
 一斗にてその一と一ツと  
 りの口米ハ五斗一石と  
 付三斗ツルハ斗米  
 とハ五斗一石付八斗  
 及び五斗法一ツと  
 りの口と斗一石斗の

又右の畝らねと五斗切と引ハ二反九畝七寸二リと  
 ありと如し一畝の内をいふの切有りては地乃  
 多少出来るなり



此檢地の外種と地取とと云ふ  
 只その時の元合せと云ふ檢地  
 の打穿かんえう之畝角四角  
 小石車手んぬり

△斗代 二と

二反八畝五寸一五寸付斗代壹石八斗引ては  
 何程と云  
 畝四石八斗と云ふハ二反八畝一石八斗と云  
 是の田五斗とある

内一斗と云と一ツと云  
是十之一の正御あり  
今之升引あり又法  
中一石の内一斗と云  
あるとのゆゑありこ  
今いふはと引あり  
二五二三あり云云  
加へるあり

と云ふを云と云ふ  
の虫のごとく法  
かづるこゝろい  
あふんさるゑ  
屋のつりある  
あふんさるゑ

八畝十歩ある付一石半代してはさる何程と同  
一石又半一斗と云右八畝十歩と云は十歩  
と云二割八畝又と云是は一石八斗と云は一石  
又斗三升と云る。是町二反二畝は二石一斗  
四升一斗は八升代と云ると同八斗代と云ると  
り小畝は二石一斗四と一町二反二畝小は二石  
八斗と云る

第五 知行方算

十又百石は物取四ツ分と取取一石と付は  
米三升、米八升、米九升、米二斗七升と  
と云同、是物取六百九十石は米二斗七升と  
り小畝は十五万石、小四六分と云るは、米三升と云るは、  
取取は、米三升と云るは、米三升と云るは、  
口米と云るは、米三升と云るは、  
米と云るは、

等御へは、さりの  
は、小去半、口八分  
スリ、小ありと云る  
何れの取何れに  
向とあるは、その云  
小御と附ら、  
さるゑ、  
た、  
分、  
上、  
何れ、  
の上、  
い、  
去、  
等、

又ハ二口の米合一石、小八分と云るは、口二升と  
又ハ八升合一斗一升、五これに一石と云るは、口六分  
と云るは、小八分、米は、米と云るは、  
七百六十、五百九十石と一皮、小ありと云る

物取、米三升、米八升、米三斗、合七万、字五  
百九十石、五と云るは、口六分、米は、  
一石、五と云るは、口八分、米は、  
何れと云るは、十又万石と云るは、  
口六分、米は、一斗、一升、米は、  
口六分、米は、一斗、一升、米は、  
同安、一斗、一升、米は、一斗、一升、米は、



ゆゑなるなり  
廿二十四か等々  
名宛由名宛小のせ  
ざるなり

(カ)三六四とあるは檢  
地の以出小これある  
由名と異名也

(ヨ)三三五八七五とある  
ハ六分二リ又と自乘  
一七の約を八と  
三二五とある小一と  
三三〇とある二五と檢  
小田積法を察し

てあるなり

(ウ)六一五とあるハハ  
くの角徑二尺六寸  
不淨佛之間旁  
と二尺を引のこを  
き尺六寸を法と  
しき方き尺を  
零とて除くと  
六二五とあるなり

左と右九里の  
大里一尺あり右  
小里六寸武分

辰二百六十石年貢米小なる所を米一石二付  
二米ワの口米と同八米ワの米米を引又今  
米のお場二千八石の直二より米を引又今  
本米何れどの場より出ると同 本米五石二斗  
六半の場と引小出の米石と二重と米と八米と  
と合算を米一斗半と米二斗八石と引又二又  
と引又と同安より七の米と引と

東村と西村合言ふ八百石西村四ツ八分あり  
抽取八百十一石二斗三年五但抽取の内言百石  
三付二石武身ワの米米と又納り米一石三付  
二々 々の口米二りてあると西村の言何  
程ワと石四 答東村言ふ八百石西村言ふ  
八百石と云ふを要する五百石米三石

武斗と云ふ四百八石と云ふこれをお抽取八百十一石武  
斗三年の内と引納りと一石三年を以て別バ本  
抽取七百四十一石と云ふと云ふと云ふと云ふ  
子八百石と云ふハ分と云ふ七石二百二十石と云ふと云ふ  
本抽取七百四十一石の内と引納り一石抽取の内  
小重又又の内四ツ八分引納り二分と云ふと云ふ石を  
別バ先東村の言ふ八百石と云ふと云ふと云ふの内  
と引納りと西村の言ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

### 第六の元免相宛事

言ふ三十石の不在田四ツ八分又云ふと云ふと云ふ  
尚抽取元何程よるかと同 答武斗二石

六里あるゆゑあり  
うめ井さん記の九  
里の石をゆくゆゑ  
志す記すにあり  
なり本虫の九里  
ハつきるまゝにして  
志す記すにあり  
ざるあり

①七寸七分九釐  
志す記すにあり  
里法四寸三分と  
三分の一よりして  
三分と倍して

六毛の上よりスツ七厘ス毛とあるとゆゑ  
志す記すにあり  
と記すにあり  
或ハト申下田合早六町はる八百八十一石上中  
下田合十四町三反武町はる七百七十九石二口合  
子三十石石の成米田ハ多ありとありさて  
五毛上中下と入る田一歩のうちに積る  
とあるは長一石小橋うぶ十二あると記すにあり  
お記すにあり  
小お記す又上中下三つ合不殺女一石はと記すにあり  
バ下うぶお七つと記すにありと記すにあり  
子百八十七と記すにあり又上中下三つ合不殺女  
と記すにあり  
六厘つ小ありと記すにありと記すにあり  
田百武子ス八百八十八と記すにありと記すにあり  
外小入積六方六子と記すにありと記すにあり

三かく面一丈と記す  
除之と記すにあり  
三かくの中旬八寸  
六分六のうぶと記す  
のこる教儀あり  
教と記すにあり  
イさーと記すにあり  
八寸と記すにあり  
はる教と記すにあり  
利ハ七寸七分と記す  
あるあり

六合四寸五分と記す  
一及二石九斗と記す  
六丁小うぶ八斗八分と記す  
と田方の多八百八十一と記す  
二合ハ多ありと記す  
四斗四分と記す  
石と記すにあり  
方と田子と記すにあり

田記すにあり  
田の内十三丁ハ多あり  
中記すにあり  
一斗と記すにあり  
田何れと記すにあり

①一寸五分とあるに  
 三かく面七寸七分  
 九四と三分一  
 乃收倍の故小八  
 六六と三分一  
 お衆すくは教と  
 三を三分一とあり  
 のさくこく一と  
 ありあり  
 不登加入肉ひき  
 外引ろんあり  
 あつひとりの法と  
 あさき一あり  
 ひろすすもく  
 ひろくもえんろひ

②一とあるを二  
 三りの法あり

③十一とありは二  
 あり

④十三とありは二  
 あり

⑤六四八二七とあり  
 の今升のありあり

⑥是尚相成り九分一  
 八合五厘毫を二  
 七と十三丁の  
 別は重文中  
 五毫と二  
 十丁と二  
 五又中  
 二而  
 ちく  
 らろ  
 米  
 とろ  
 とは  
 る

⑦一とあるを二  
 三りの法あり

⑧十一とありは二  
 あり

⑨十三とありは二  
 あり

⑩六四八二七とあり  
 の今升のありあり

⑪是尚相成り九分一  
 八合五厘毫を二  
 七と十三丁の  
 別は重文中  
 五毫と二  
 十丁と二  
 五又中  
 二而  
 ちく  
 らろ  
 米  
 とろ  
 とは  
 る

### 第七 徳蔵又入積の度

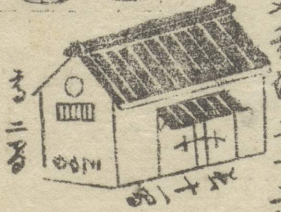
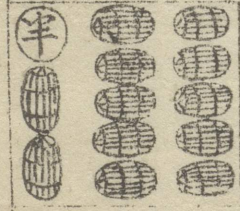
①一とあるを二  
 三りの法あり

②十一とありは二  
 あり

③十三とありは二  
 あり

④六四八二七とあり  
 の今升のありあり

⑤是尚相成り九分一  
 八合五厘毫を二  
 七と十三丁の  
 別は重文中  
 五毫と二  
 十丁と二  
 五又中  
 二而  
 ちく  
 らろ  
 米  
 とろ  
 とは  
 る



一升一分五釐六分  
 四寸八分二十七あり  
 又五寸の五釐六分  
 十四寸八分二釐  
 ある更今年の法用  
 あり

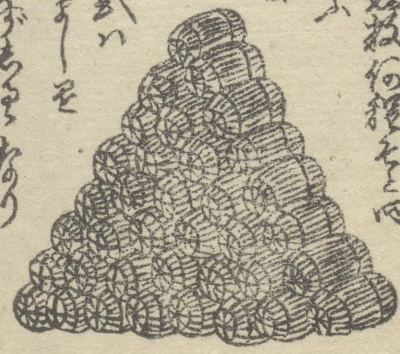
④六二五とあつた  
 古年の法より  
 升二分の五釐あり  
 六分二釐五厘あり  
 一寸の五釐あり  
 二寸八分五釐あり  
 法よりあり

儀ありとまある八儀と  
 六十二儀ありとあり

第八次形儀教と加交

④次形中の八儀を  
 三十二儀ありとあり

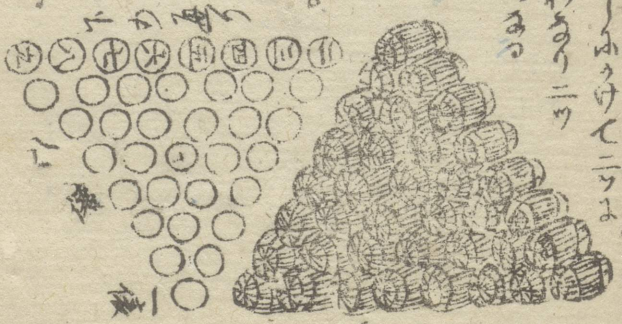
右をト八儀と三十二  
 九儀と三十二儀  
 と儀は二ツよりあり  
 二十六儀とありあり  
 ト何れども三十二  
 あり二ツよりあり



升よりある法の  
 つとありとあり  
 法よりあり  
 升のつとあり  
 とひけいあり  
 六分あり  
 不をカとあり  
 六分あり

⑤海鏡の法とあり  
 りありありあり

右よりトの八儀を  
 三十二儀ありとあり  
 九儀と三十二儀  
 と儀は二ツよりあり  
 二十六儀とありあり  
 ト何れども三十二  
 あり二ツよりあり







九合又夕の外

口四寸八分五厘七  
源二寸六分六厘七  
とあるて米升の外は  
四寸九分七厘再乗  
一七寸百十七寸六分  
四九とあるふ九合  
五寸とあるふ一合  
百十寸七寸七分六厘  
六五五とある尺同  
五寸七厘とある尺  
八分五厘とある尺  
七寸とある尺あり

ゆゑ般と一升とすの  
口四寸九分七厘除  
之ある二寸六分五  
リン四とある尺あり  
升とつらとつ一合と  
百石とつらとつ一合と  
御主人にあらトと  
となりそは不  
以のやうの中と  
常の御にあら

(四十七)

張一合付五合のより八の死一石の何程と向  
養五合付五合百八十九と云云の二石と云云  
を四合とて五合一石と代あるあり

米一石付代五合百五十四の何程養五合付米五合  
程と向一合付五合と云云一石と云云何程五合十  
合と云云五合一合の米あるあり

米一石付代五合百五十四の何程養五合付米五合  
程と向一合付五合と云云一石と云云何程五合十  
合と云云五合一合の米あるあり

米一石付代五合百五十四の何程養五合付米五合  
程と向一合付五合と云云一石と云云何程五合十  
合と云云五合一合の米あるあり

米一石付代五合百五十四の何程養五合付米五合  
程と向一合付五合と云云一石と云云何程五合十  
合と云云五合一合の米あるあり

米一石付代五合百五十四の何程養五合付米五合  
程と向一合付五合と云云一石と云云何程五合十  
合と云云五合一合の米あるあり

四十七

何の本働のほ  
一棟のさうあう  
つるとはくさ  
ハ井のわりめお遠  
ある

一合ひやく  
さうさう二寸九リ  
七八條さ二分六四七と  
あら一井ひやくの  
さうさうとさうさ  
んぬ作すとさう  
の源サとさうさ

まきと付三十石の真一と四半と米八俵又百の代  
何程と四七共二百九十五と云 何の儀程と  
之井八合さうけまき石の代千四とさうあり

米を石付世四八分大豆二石付二下四小豆二石  
付廿七分武下俵武百廿七分九と云 右の之品と買  
何れも同米扱ありて何程と云 米二石中半五  
半は俵九十武分武下二リと大豆二石中半は俵  
半五分下小豆二石中半 又半は俵七十武分  
二口合武百廿七分九と云 右の之種一石の  
俵合八十六分五と云 同安ありて又俵と云  
二石六中半と云 右のさうありあひれ又品といへ  
も同井条といふと云 右のさうあり

右の井つと二俵と  
つめてあり俵と云

ひさしくとつと云  
と云 雲の固とつと云  
く柄さねのほり  
右と井同減ること  
あり 系半のつと云  
つと云とひとく  
らん能

米一石付世四八分大豆二石付二下四小豆二石  
付廿七分武下俵武百廿七分九と云 右の之品と買  
何れも同米扱ありて何程と云 米二石中半五  
半は俵九十武分武下二リと大豆二石中半は俵  
半五分下小豆二石中半 又半は俵七十武分  
二口合武百廿七分九と云 右の之種一石の  
俵合八十六分五と云 同安ありて又俵と云  
二石六中半と云 右のさうありあひれ又品といへ  
も同井条といふと云 右のさうあり

四七



一二三四五至  
 十、說天地之數  
 始於一大極者  
 一也、大極生陰  
 陽、陰陽者二也  
 陰陽生四象、兩  
 三才成、三才者  
 三也、四象者四  
 象分爲五行、兩  
 五數立矣、天地  
 之道定於五、爲  
 數之原由、是以  
 天地相合生成

德配爲十以立  
 數之本、故天以  
 一、生水、須地以  
 成之、兩立生焉  
 二、與七配爲火  
 合也、天以三生  
 木、須地以成之  
 兩、八生焉、三與  
 八配爲木、合也  
 地以四生金、須  
 天以成之、兩九  
 生焉、四與九配

但米ハ八十六分、但米ハ五十分、付、二千或五分の、お飾大  
 量の、一を付、廿八分、下の、さう、とある、と記、右、八、六十  
 儀の内、米、何、幾、ぞ、と、問、答、米、四、百、二十、八、儀、大、量、二、十  
 武、儀、と、い、ふ、右、八、百、二十、儀、と、二、フ、別、が、二、百、八十、を、取  
 こ、れ、よ、大、量、の、直、廿、八、儀、五、下、と、う、ら、ま、七、十、九、百、八十、分  
 と、ある、是、程、代、指、す、の内、と、引、の、と、り、七、八、百、七、十、八、分  
 あり、右、を、別、と、重、た、米、の、直、三、千、或、五、十、の内、大、量  
 の、直、廿、八、儀、五、下、引、て、繰、り、上、り、右、の、直、と、同、量、す、と、  
 右、と、八、百、七、十、八、分、と、う、ら、ま、米、武、百、十九、を、と、り、右、と、  
 二、と、う、ら、ま、右、の、直、三、千、八、儀、と、あ、り、右、と、八、百、六、  
 十、儀、の内、と、引、の、と、り、七、百、二十、武、儀、大、量、あり

儀はち

四斗儀千四百八十儀ある、これと、右、と、あ、り、右、と、  
 何、ち、と、問、八、百、八十、と、い、ふ、右、の、儀、數、に、四、斗、と、う、ら、  
 米、右、と、あ、り、右、と、あ、り、

八、百、八十、ある、と、記、一、石、を、付、武、米、八、合、つ、く、ん、ま、中、と、あ、り  
 右、と、一、石、の、内、何、ち、と、問、答、八、百、六十、八、分、と、云、  
 右、の、一、石、の、内、武、米、八、合、引、ば、九、斗、七、斗、八、合、と、あ、る、是、を  
 八、百、八十、と、う、ら、ま、右、と、あ、り

右、と、一、石、の、内、何、ち、と、問、答、八、百、六十、八、分、と、云、  
 右、の、一、石、の、内、武、米、八、合、引、ば、九、斗、七、斗、八、合、と、あ、る、是、を  
 八、百、八十、と、う、ら、ま、右、と、あ、り

為金合也天以五生五而地成之則十生焉五與十為土合也故又曰天數五地數五之位相得各有合此自至十之數所中拿也由此以為數本積面位之則大數名有之也

此のひれを三斗七升六合を因系外ありて系  
るどふもどと向 養系外ありて三斗二升と  
あるとりふ 右の二斗七升六合を四七ふりて七  
斗半とて六系外の數とあるあり四斗八升俵  
八百俵と四斗俵ありて何程と成と向 養六面俵と  
りふ 右の俵數ありて八斗八升とて何程あり  
さうさうありとりの八倍ありて八斗八升と何程  
何半とりふともその未數と俵數ありて今養系外  
系といふも是

七

第十 儀奏實の束

凡數之大者天莫能蓋地莫能載其數不能極故謂之大數也

一十百千万十  
万百万千万億

曰兆 如前呼之  
百億千億万億  
十萬億百萬億

儀奏實文、月十九日武下の同報書、儀何程と  
同 養系外、儀五下文と云 右の九百六十と成  
さうを十九日武下と割る、右の廿八日何程と書あり

儀書、儀抄、十文よりあり、右の九百六十と成  
養十九日武下とあり、右の九百六十と成  
又十文より、養一冊の代書あり

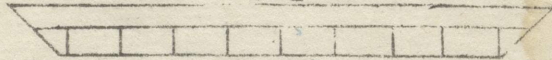
儀書、儀抄、十文よりあり、右の九百六十と成  
養十九日武下とあり、右の九百六十と成  
又十文より、養一冊の代書あり



像數亦不能盡  
故謂之小數也  
一分釐毫  
一毫忽沙  
微埃  
塵  
漢  
小數如大數  
萬方精呼吏  
有之畧其積  
名書記

とあるとあよみかぬ又三又六寸あるを  
合まると四十米とけり八四とあるはと用安  
りて右の二二又と別は二百八十七米の代り  
又張十ぬる何れか尚と四八十七米六分  
尚と云ふは二百八十七米と代張半らぬ四  
分と云ふは六十七米六分とあり  
又まを糸の代張何れか尚と云ふは  
七り云ふ六は尚と云ふは代張半らぬ  
四トと二百八十七米と別は一糸の代り  
刻木 長一尺一寸五分守の口張十ぬる六十米  
長守は 或天二寸の口張 八十米  
以二尺の内けりきと受うそとくるかと  
善二尺六寸ありのさくらとくことりか  
但し

度



以銅為之長一丈二寸高三寸

度尺の起  
の起  
里也  
始於  
黃鐘  
之長  
以拒  
之  
中者  
一之  
之廣  
度之

指十ぬる用てハリシニをくぞとゆ  
ちの二尺一寸とあるはあはれけり合はぬ長一尺一寸  
とゆをれぬ六十米とけり一五五とあるはま  
をたうそ二尺あるはあはれけりあはれぬ九寸と  
るは八十米とを二八八と張と用安りけ  
るの二尺六寸と別は十ぬる八りと云ふはけりハリシニをくぞと  
あり

今八米あるはもうぬるは長サふしかぬるは寸目  
りうひあり指をぬる百十二又百四の寸  
りしてなるぬらけりもう木二百二十七寸八  
用あり今日の木はぬるはさうの寸りぬるはさ  
りぬるとさうぬるはさうの寸報何れかまをくぞと  
同 善二十八寸とゆ  
ちのさう木のあり用て百六十七寸八分と一尺八

ISSEIDO  
 田神 宗兼  
 ¥ 60  
 4935  
 年 月 日

九十分黃鐘  
 之長一為一  
 分十分為尺  
 十尺為丈十  
 丈為引

八とくろをこに八とくろをこ代報きまうらの  
 ことあり

平歩法

經の法 七分九令五  
 七厘九令五 とあり

一尺

左とくろ經天の各歩數を接因一天とあり、重を合一の百歩と成  
 是、七分九令五厘九令五、八とくろ又經天の各周、是、寸  
 六とくろとあり、重を合九百九十八八六と成是、は、法七厘九令五と  
 是、接因步數七十八、八分六六八と成是、是、お遠の法、二六二七七  
 令、一、八、八、二、六、とあり

算法指南終



